第４８回NHラボセミナーレビュー

セミナー資料を編集し、Q&Aを加えました。
２０２２年６月２４日 (文責　事務局）

音 場 の 創 成

2022年6月20日

髙松 重治

ＴＯＣ

- レコード演奏家論(菅野沖彦)
- 40万積について
- 音場の補正
- デジタル・グラフィック・イコライザー

  Accuphase DG-58
- 考察

レコード演奏家論

新レコード演奏家論（ステレオサウンド社）より

菅野システムのスピーカー群

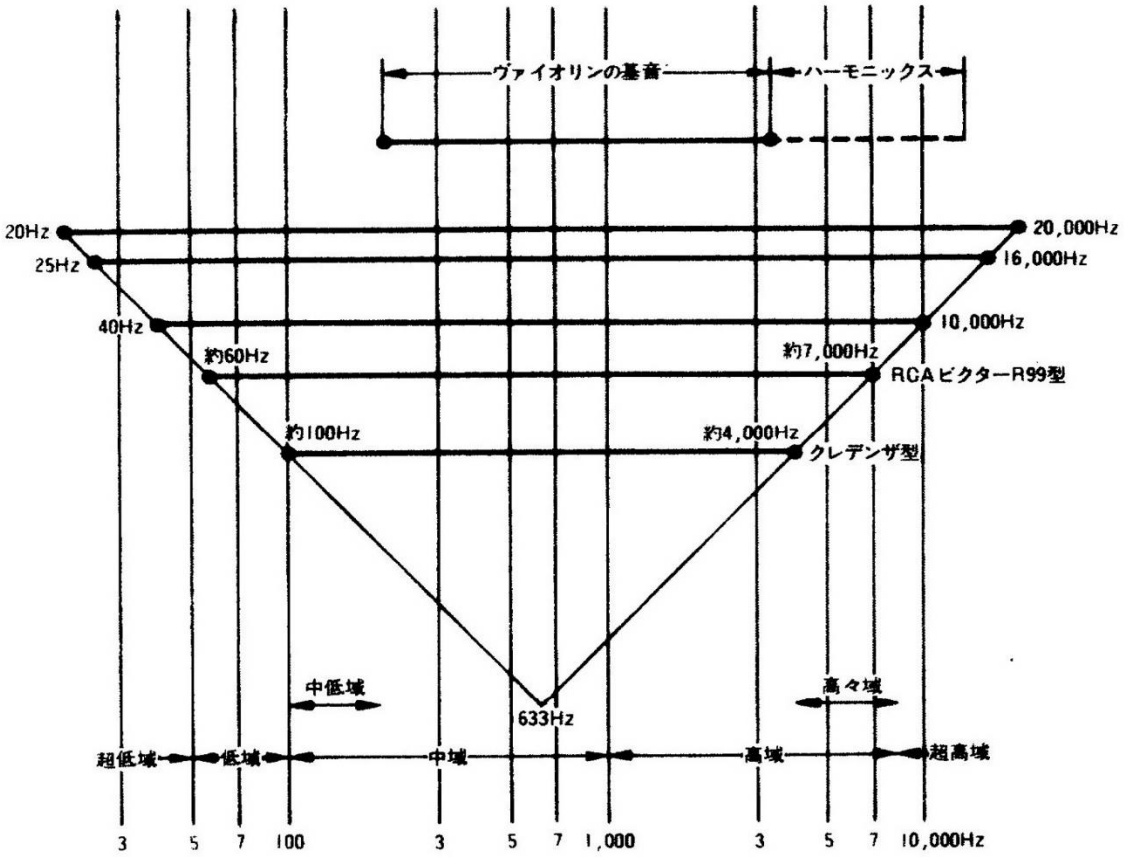
システム1
Woofer : JBL2205A
Squawker : JBL375+537-500
Tweeter : GEM TS208　(JBL075 ?)
Sub Woofer : YAMAHA YST-SW1000L

システム2
McIntosh : XRT20　(+ YST-SW1000L ?)

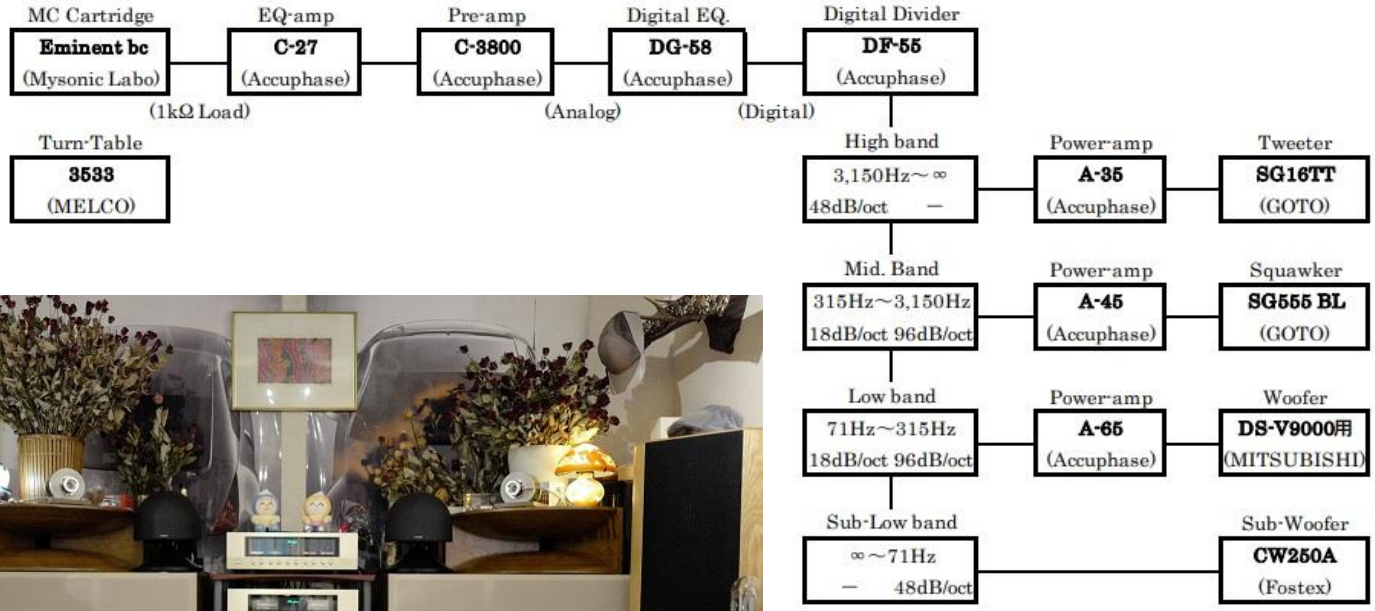
システム3
German Physiks , JBL2205A , etc

40万積について

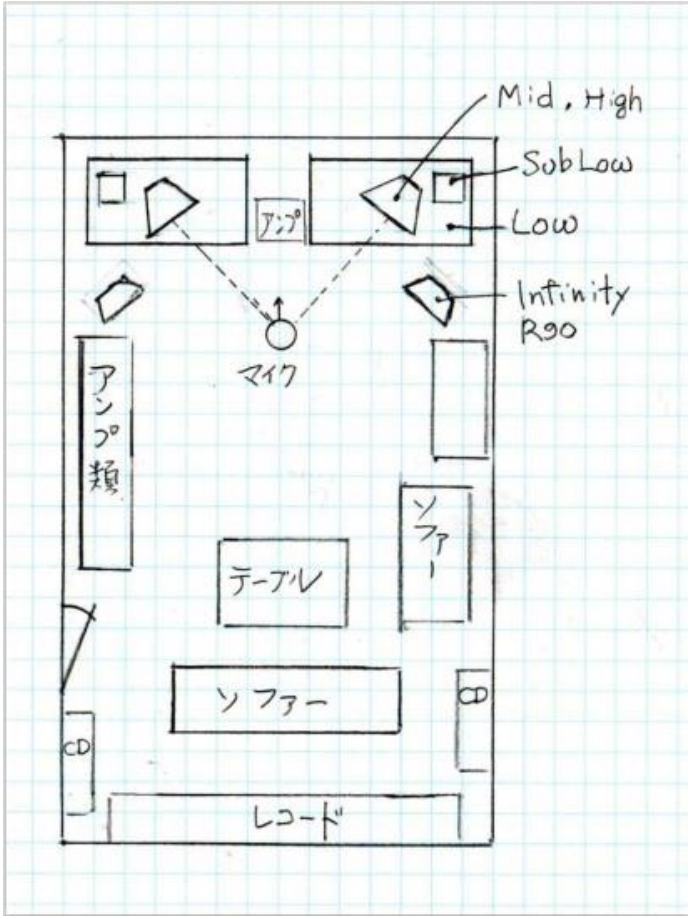
(出典:池田圭著 音の夕映より)



音場の補正
高松氏宅スピーカーマルチシステムでの例

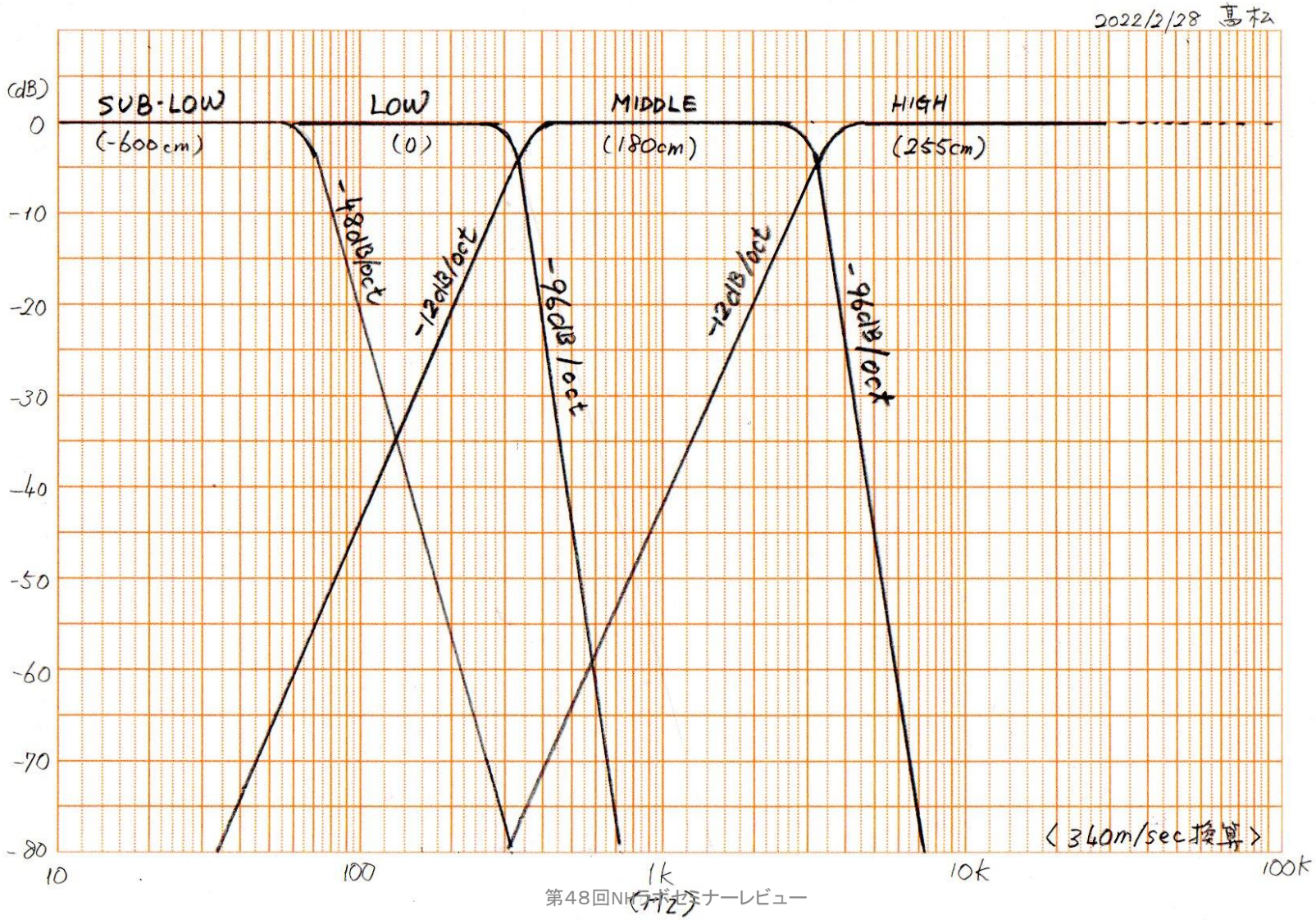


リスニングルームと測定マイク



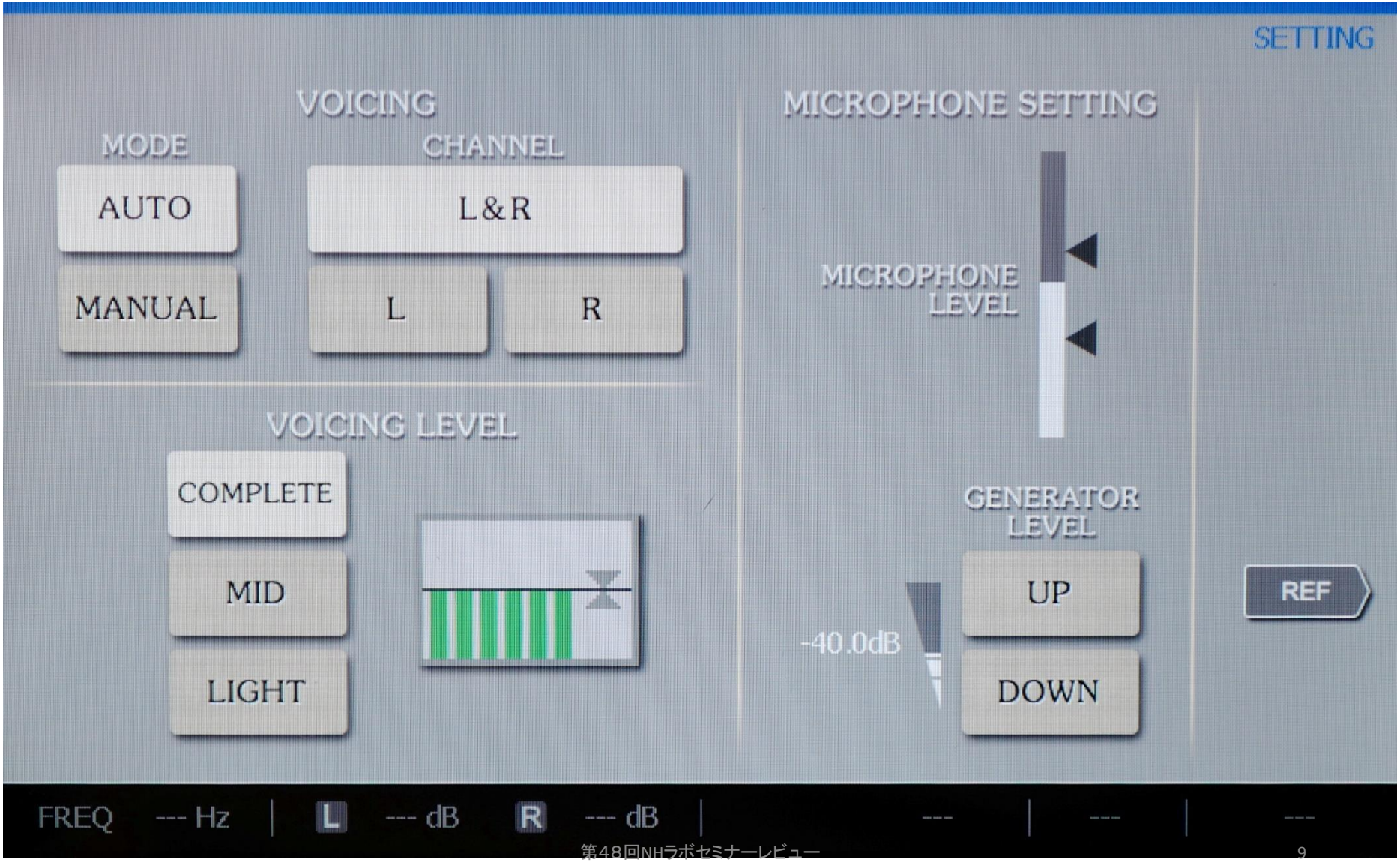
マイクロフォンの位置
（スピーカ近傍時）

クロスオーバ設定特性

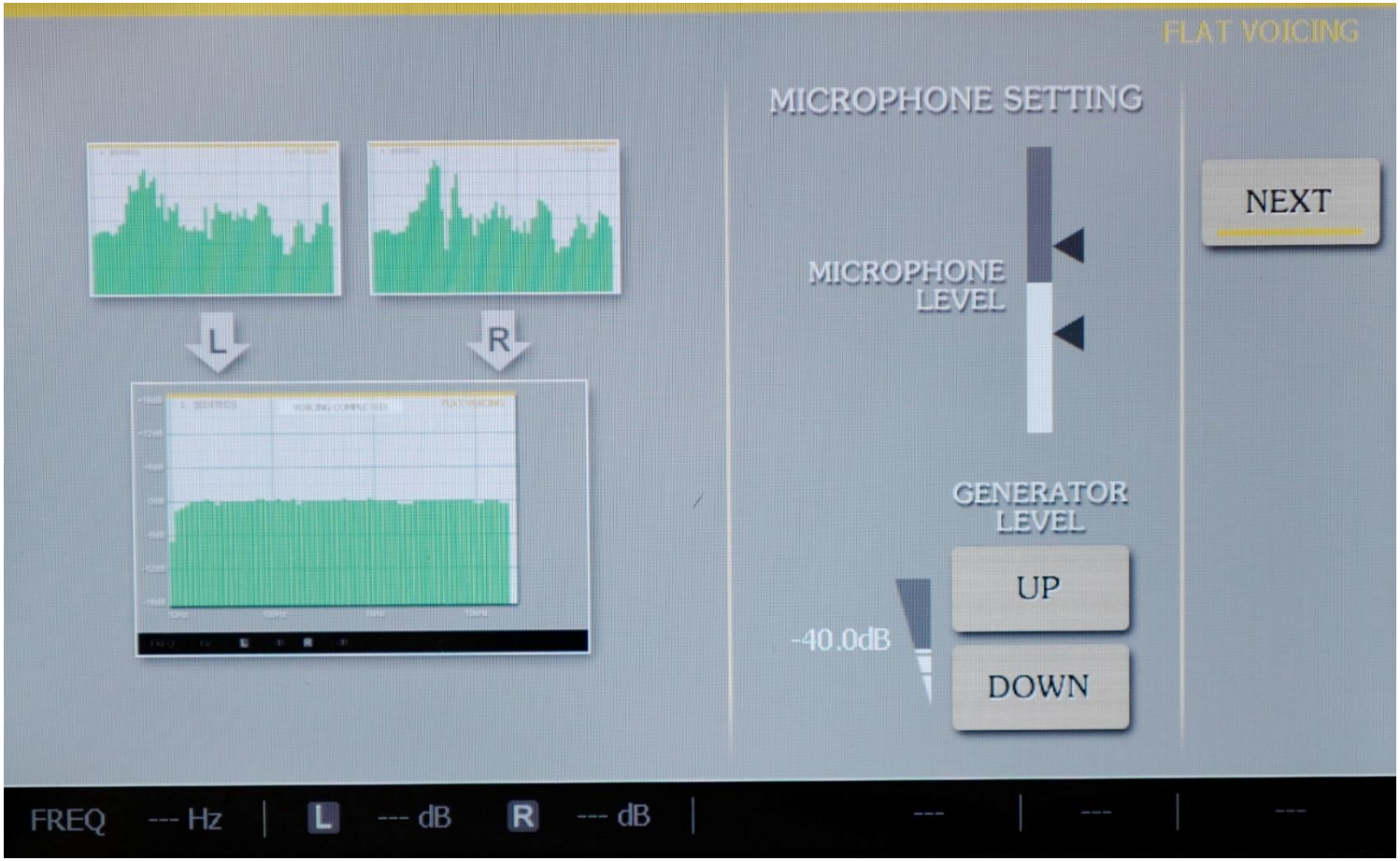

2022/2/28 高松
(dB)
SUB·LOW
(-600cm)
LOW
(0)
MIDDLE
(180cm)
HIGH
(255cm)
-48dB/oct
-12dB/oct
-96dB/oct
-12dB/oct
-96dB/oct
0
-10
-20
-30
-40
-50
-60
-70
-80
10
100
1k
10k
100k
(Hz)
〈340m/sec換算〉

音場測定設定器　DG-68

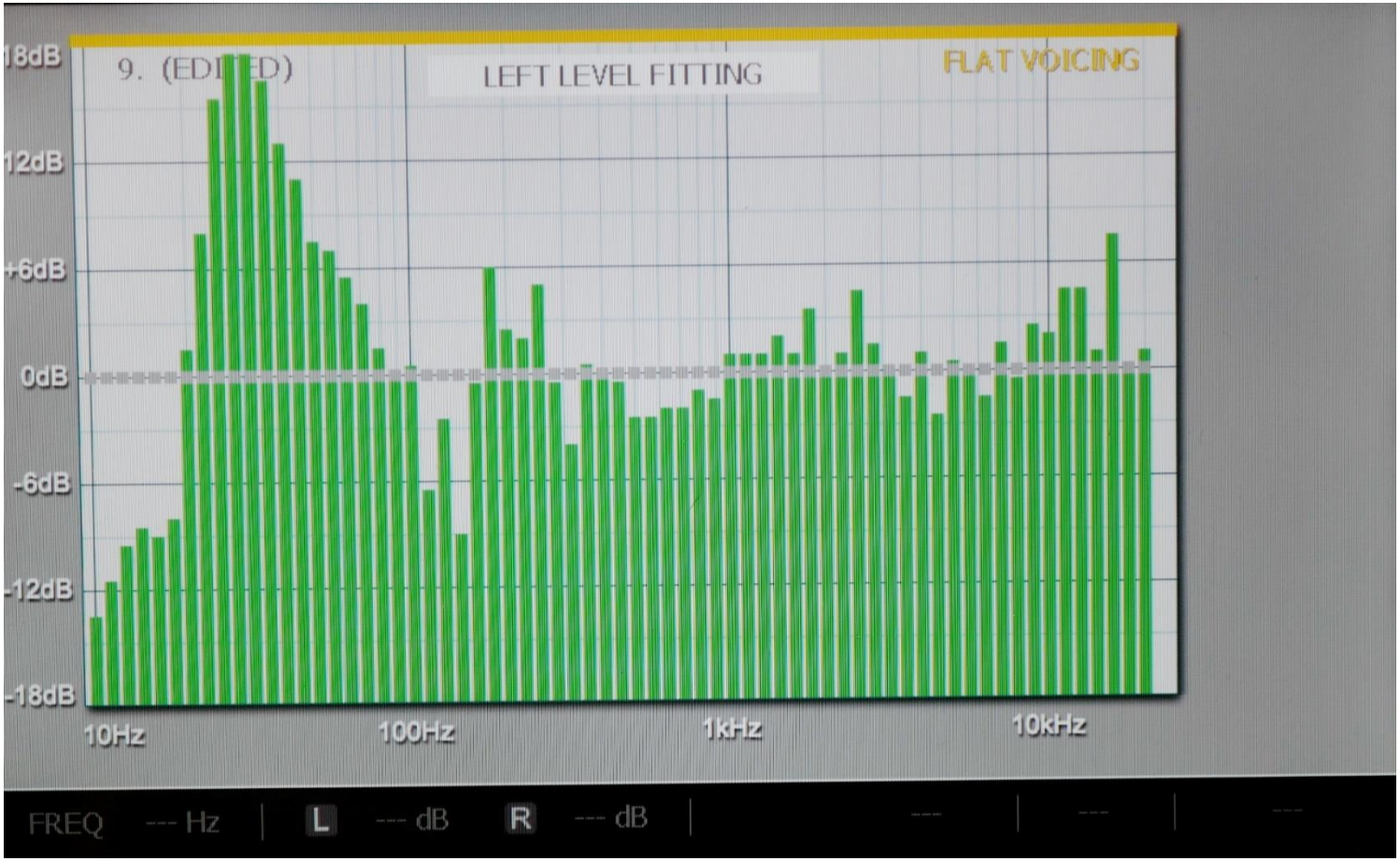
SETTING を押す


SETTING
VOICING
MODE
CHANNEL
AUTO
L&R
MANUAL
L
R
MICROPHONE SETTING
MICROPHONE LEVEL
VOICING LEVEL
COMPLETE
MID
LIGHT
GENERATOR LEVEL
UP
-40.0dB
DOWN
REF
FREQ --- Hz
L --- dB
R --- dB

NEXTを押すと測定レベルの設定画面



NEXTを押すと計測開始



イコライズの方法

- 測定音源
  - シングルトーン
  - ワーブルトーン
  - 広帯域インパルス（放電音）
- グラフィック・イコライザー方式（DG-58）
- パラメトリック・イコライザー方式
  - 周波数可変、Q可変、利得可変
- 理想的には音の”PhotoShop”

考　察

- ステレオ装置の左右レベルは重要
  - モノラル音源はステレオ装置で再生可能か
  - 周波数変化によるステレオ定位の変化

- スピーカの左右の f 特を揃えることの難しさ

- 計測マイク位置によるデータの変化

- その他 時間軸測定
  - RINKAKU
  - 4-Mic Alleyでの時間軸測定(仏Trinnov社)